

講演者プロフィール

< 講演者 >

ジュリー・ホートン氏 (Ms. Julie Houghton)

英国食品研究所研究員

イーストアングリア大学社会・社会考古学士、同大学医療社会学修士。同大学環境リスク管理センター上級准研究員、医学部研究員等を経て、2004年から英国食品研究所消費科学グループ研究員。

リスク認知、リスクコミュニケーション及びそれらの調査手法開発等を研究分野として活躍しており、論文多数。最近では、「食品リスク管理の効果に関する消費者の認識：比較文化研究」(2006年、共著)、「食品安全リスク管理の実例：消費者及び専門家の認識」(2006年、共著)、「主要関係者間の商品安全リスク管理に関する認識」(2006年、共著)などを発表している。

2004年から欧州共同体出資による「Safe Foods」プロジェクトに参加し、効果的なリスク管理のための消費者のリスク認知や各国の比較調査研究等を行っている。

英国食品研究所 (IFR) とは？

The Institute of Food Research

保健、健康に資するため、食品及び食品に由来する疾病管理等について、国際的なリーディング機関として1986年設立。BBSRC (遺伝子工学生物学研究委員会) の出資による非営利公益機関。食品に焦点を置いた英国における唯一の統合基礎科学研究機関。

世界的にも公式、非公式に研究協調を行っている。研究成果は、英国だけでなく国際的政策に活用されており、英国政府、公的機関、行政当局、業界及び消費者へのアドバイス、解決策の提示等を行っている。

所在地は英国ノリッジ。

IFR ホームページ <http://www.ifr.ac.uk/>

Safe Foodsとは？

新しい統合的なリスク分析により食品安全を推進するEUの第6期フレームワークプロジェクトの1つ。多様な学術的アプローチにより食品安全に関するリスク分析手法を向上させ、フードチェーンに対する消費者の信頼回復を目的とする。

Safe Foods ホームページ <http://www.safefoods.nl/default.aspx>